　 あなたの心配ごとを伝えることを計画し、結果を予測するための様式

　 — クライアント・従業員版　—　　　　　　　　　　　ダイアローグ実践研究所

## 様式は３つのセクションから構成されています:

* セクションA：どのように心配ごとを取り上げたら良いか計画する際に記入してください。
* *セクションB：話し合いを準備する段階で記入してください。*
* *セクションC：話し合いの直後に記入してください。*

1. 心配ごとのある相手について記入してください（質問１−３）

| 1a. あなたは誰について心配していますか？  1b. あなたが心配している相手とは、どのような関係あるいは役割にありますか？ |
| --- |
| 2. 心配ごとについて、誰と会って話し合おうと思いますか？　クライアント／従業員に信頼できる  人などを呼ぶことを勧めますか？　そこでどんなことをしたい、話し合いたいですか？ |
| 3a. あなたが心配していることはなんですか？  3b. あなたの心配ごとを取り上げず、話し合わないと、何が起こると思いますか？  3c. あなたが本当に、クライアント／従業員からの助力を必要としているのは、どんなことでしょうか？  3c. あなたはどのくらい心配していますか？  あなたの心配の度合いは、次の３つのうちどれに当てはまりますか。（該当するものにチェック）        　 小さな心配　 グレーゾーンにある心配　 非常に大きな心配 |

## B. 話し合いの前に記入してください。（質問４−８）

| 4. 話し合う相手が、あなたから支援を受けられると感じるのは、どのような場合でしょうか？  逆に、相手が、あなたを脅威と感じるような状況があるでしょうか？  支援と感じる状況：  脅威と感じる状況： |
| --- |
| 5a クライアント・従業員や、状況にどのような強みやリソースが見出されますか？  その強みやリソースをどうすれば本人に伝えられるでしょうか？  5b. 状況を良くするために、相手と一緒に、あるいは別々にどのようなことができるでしょうか？ |
| 6. あなたの心配ごと/不安な気持ちと、協力し合いたいという気持ちをどのように取り上げようと  思っていますか？あなたの心配ごと/不安な気持ちを表現する別の方法や思い付きを書いて下さい。  リソースについてと、協働の申し出をどのように表現するか考えてみましょう。  （項目５aを参照） |

| 7a. 話し合いの最中にどのようなことが起こるか予想して下さい。  誰がどのように反応するでしょうか？  7b. 話し合いの結果と成果がどうなるか予想して下さい。  *心配ごとを伝えることで、ダイアローグと協力を続けることが難しくなると考えられる場合には、*  *はじめに戻って、a)相手からの支援を必要としていることは、本当になんなのか、b)どのようにして*  *本当に必要としている助力を得ることができるか、をもう一度考えてみましょう。*  *そして、あなたからの協働作業の申し出についても、別の言い方を考えてみましょう。* |
| --- |
| 8. いつ、どこでこの話し合いを行いますか？  （この難しいケースについて話し合うには、どのような場所、どのような時間が良いでしょうか？） |

## C. 話し合いの直後に記入して下さい。（質問９−１１）

| 9. どのようにあなたの心配ごとを取り上げましたか？ |
| --- |
| 10. あなたの気持ちはどうでしたか？  a) 話し合いの前：  b) 話し合いの最中：  c) 話し合いの後： |
| 11a. 質問７で答えた、あなたの予測をふりかえって下さい。あなたの予測どおりでしたか、それとも  異なっていましたか、何か驚いたことがありましたか？  11b. 相手の状況を支援するためには、今あなたはどのように考えていますか？  楽観視できる理由がありますか？まだ心配なことがありますか？  11c. この心配/不安を軽減させるためには、あなたは何ができると思いますか？ |